

海南島の食用植物

助教授 中山正章

(1) 緒言	参考文献
(2) 食用植物	圖版 I~II

(1) 緒言

本編に於ては、海南島自生植物中主として莖・葉及根（地下莖・塊莖を含む）等を食用となし得るものを挙げ、又備考には其植物の薬用となる部分を略記したのであるが、他より移來して較自生化したるもの例へばタマリンド（*Tamarindus indica* LINN.）及從來植物體の一部のみ利用して比較的他の部分の利用を顧みられなかつた植物例へばキウリ（*Cucumis sativas* LINN.）の如きは之を掲ぐる事にした。然しモククワ（*Carica papaya* LINN. cult.）等の如き果實を食用とする植物又純然たる栽培種例へばタマネギ（*Allium cepa* LINN.）等の如き蔬菜は之を省略した。

本文を記載するに當り、圖版其他種々指示せられし植物學教室猪熊教授、又臺北大園藝學教室田中教授及小田島喜次郎氏に對し深謝の意を表する。

(2) 食用植物

I, 羊齒植物

科名	學名	和名
ウラボシ科	<i>Diplazium asperum</i> BLUME	
	葉は食用（ジャバ）	
ウラボシ科	<i>D. esculentum</i> SWARTZ	クハレシダ
	嫩葉はサラダとし又は料理して食用、或はホウレンサウの代用（各地）	
ウラボシ科	<i>Nephrolepis cordifolia</i> PRESL.	タマシダ
	嫩葉は食用（海南島、佛印）	
ウラボシ科	<i>N. hirsutula</i> PRESL.	
	嫩葉は食用（舊蘭印地方、マレイ等）	

備考：括弧内は食用とする地方又は住民を示す。

カニクサ科 *Lygodium scandens* SWARTZ.

極く嫩葉を食用 (ジャバ)

II, 雙子葉植物

コセウ科 *Piper sarmentosum* ROXD.

(第1圖版) 嫩葉は煮野菜 (ペナン, 海南島); 備考, 葉は薬用

クハ科 *Ficus elastica* ROXD. cult. インドゴムノキ

開葉前の嫩葉頂端をサラダとして食用 (ジャバ); 備考, 根は薬用

クハ科 *Morus alba* LINN. クハ

嫩葉を野菜 (ジャバ); 備考, 支那人は本植物を薬用とする

イラクサ科 *Pouzolzia zeylanica* BENN. アリエヒメマラ

野菜として用ひ, 胡瓜の味を有し風味宜しからずとされてゐる (マレイ地方);

備考, 本植物は薬用

タデ科 *Polygonum Hydropiper* LINN. カハタデ

嫩葉は香味料 (各地); 備考, 薬用

ヒユ科 *Alternanthera sessilis* R. BR. ツルノゲイトウ

嫩葉は野菜 (マレイ, セイロン等)

ヒユ科 *Amaranthus retroflexus* LINN. アヲビユ

苗嫩葉は野菜 (海南島其他)

ヒユ科 *A. spinosus* LINN. ハリビユ

苗嫩葉はハウレンサウの代用 (海南島其他)

ヒユ科 *A. viridis* LINN.

(第2圖版) 同上

ツルナ科: *Sesuvium portulacastrum* LINN. ハマミヅナ

嫩葉は野菜, カタバミの様に酸い爲2乃至3回煮る (マレー, 佛印)

スベリヒユ科 *Portulaca cleracea* LINN. スベリヒユ

煮野菜 (海南島其他); 備考, 薬用

スベリヒユ科 *P. quadrifida* LINN.

同上 同上

ツルムラサキ科 *Basella rubra* LINN. ツルムラサキ

莖葉はハウレンサウの代用 (佛印, マレイ等); 備考, 葉は薬用

- フテウサウ科 *Crataeva magna* DC.
 嫩葉は野菜(佛印)
- マ メ 科 *Albizzia procera* BENTH. タイワンネム
 嫩葉は食用となり得る
- マ メ 科 *Caesalpinia crista* LINN. シロツブ
 嫩葉は調味料(各地)
- マ メ 科 *Canabalia gladiata* DC. cult. ナタマメ
 大きい扁平の嫩莢は生食又は料理用野菜(ジャバ, マレイ等)又種子も食用(ジャバ)
- マ メ 科 *Cassia occidentalis* LINN. クサセンナ
 嫩葉は米と共に煮て食用(各地), 又種子はコーヒー代用として各地にて屢々用ひらる
- マ メ 科 *C. tora* LINN. エビスグサ
 嫩葉は食用(地方により)
- マ メ 科 *Dolichos Lablab* LINN. フヂマメ
 嫩葉, 嫩莢は食用(マレイ, 佛印其他); 備考, 葉は薬用
- マ メ 科 *Entada phaseoloides* MERR. モダマ
 嫩葉は生食又は料理用(舊蘭印地方), 又種子は長く煮るか, 或は焼いた種子を水に浸した後煮て食す; 備考, 種子は薬用
- マ メ 科 *Leucaena glauca* BENTH. ギンネム
 未熟嫩莢は食用
- マ メ 科 *Pachyrrhizus erosus* URB. cult. クズイモ
 嫩莢は食用に供すと云はれる, 地下莖も食用; 備考, 種子は薬用
- マ メ 科 *Phaseolus lunatus* LINN. cult. アフヒマメ
 嫩莢は食用(ジャバ); 備考, 蔓は薬用
- マ メ 科 *P. vulgaris* LINN. cult. インゲンマメ
 嫩葉はサラダ用(マレイ)
- マ メ 科 *Pueraria phaseoloides* BENTH. クズインゲン
 地下莖は食用に供すと云はれる; 備考, 薬用
- マ メ 科 *Smithia sensitiva* ART. ネムリハギ
 葉は煮野菜(印度); 備考, 薬用に供すと云はれる
- マ メ 科 *Tamarindus indica* LINN. タマリンド

嫩葉は食用（インド）、花はカレー用とし又野菜とする（シヤム）。幼種子も食用とする（各地）、備考、薬用其他用途多し

カタバミ科 *Oxalis repens* THUNB. カタバミ

葉はタマリンドの代用香味料（ジャバ其他）

ヘンルウグ科 *Acronychia pedunculata* MIQ. オホバゲツケイ

葉は調味料（佛印等）

タカトウダイ科 *Jatropha Curcus* LINN. タイワンアブラギリ

嫩葉は料理して香料とする（マデエイラ島）；備考、種子は薬用

クロタキカツラ科 *Cardiopteris moluccana* BLUME

葉は生野菜（アムボイア）

ムクロジ科 *Cardiospermum Halicacabum* LINN. フウセンカツラ

葉は野菜（印度；舊蘭印）

ムクロジ科 *Erioglossum rubiginosum* BLUME

嫩芽は野菜（ジャバ）又マレーの小供は果實を食す；備考 葉は薬用

クロウメモドキ科 *Colubrina asiatica* BRONGN. ヤヘヤマハマナツメ

極く嫩葉を食用（特にアムボン人）

シナノキ科 *Corchorus capsularis* LINN. cult. ツナソ

葉は野菜（ベンガル人は數葉を米に入れる）

アフヒ科 *Hibiscus surattensis* LINN. マンキンアフヒ

葉は酸味を有しカレーに使用（マレイ、印度）；備考、葉は薬用

アラギリ科 *Melochia corchorifolia* LINN.

葉は食用（マレイ、印度北部）；備考、葉は薬用

テンエンクワ科 *Melaleuca leucadendron* LINN. cult. カユブテ

葉は茶の代用（ニューカレドニア）；備考、種子は薬用

セリ科 *Apium graveolens* LINN. cult. オランダミツバ

野菜（各地）

セリ科 *Coriandrum sativum* LINN. コエンドロ

嫩葉は調味料（マレイ、佛印其他）；備考、種子は薬用

セリ科 *Hydrocotyle sibthoroides* LAM. マルバチドメグサ

野菜（ペカン）；備考、葉は薬用

- カ *Foeniculum vulgare* GAERTN. cult. ウ キ キ ヤ ウ
 嫩葉は調味料 (マレイ, ジャバ); 備考, 種子は薬用
- ヤブカウジ科 *Aegiceras corniculatum* BLANCO
 葉は食用, 生食又は料理して用ひらる (モルツカ)
- タウロタ科 *Telosma Procumbens* MERR.
 未熟果實は比島にては野菜に用ふ
- ヒルガホ科 *Calonyction aculeatum* HOUSE
 嫩葉は野菜 (パレンバン)
- ヒルガホ科 *Ipomoea Batatas* POIR. cult. サ ツ マ イ モ
 頂芽は野菜 (マレイ其他) 但しシアン化水素を含むにより多量は不可とされてゐる
- ヒルガホ科 *I. reptans* POIR. cult. ヨ ウ サ イ
 野菜 (各地); 備考, 薬用ともなる
- ヒルガホ科 *Merremia umbellata* HALL. f. ミミバフサアサガホ
 嫩葉は他の野菜と混じて食用 (印度北部); 備考, 葉は粉末として薬用
- ムラサキ科 *Tournefortia argentea* LINN. f. モ シ パ ノ キ
 葉は食用 (舊蘭印) パセリの味を有し生食される
- シンケイ科 *Ocimum sanctum* LINN. cult. カ ミ バ ウ キ
 葉は往々サラダとして食用; 備考, 葉根は薬用
- シンケイ科 *Perilla frutescens* BRITTON var. var. シ ソ
crispa DECNE.
 葉は食用 (各地)
- ナス科 *Lycium chinense* Mill. ク コ
 嫩葉は香料 (マレイ, ジャバ, ホノルル等在住支那人); 備考, 漿果は薬用
- ナス科 *Solanum nigrum* LINN. イ ス ホ ホ ヅ キ
 葉は煮野菜 (海南島其他); 備考, 薬用
- ノウゼンカヅラ科 *Oroxylum indicum* VENT. オ ロ キ シ ル ム
 嫩葉は料理して食用 (マレイ, ビルマ, 比等); 備考, 葉, 皮其他の部分廣く薬用
- キツネノマゴ科 *Clinacanthus nutans* LUNDAU
 葉は調味料 (マレイ其他); 備考, 葉は薬用
- キツネノマゴ科 *Dicliptera chinensis* NEES ヤンバルハグロサウ
 嫩葉, 頂芽は生食又は蒸食とし香料 (ジャバ)

ア カ ネ 科 *Hedyotis auricularia* LINN.

葉は米と共に食用 (チンガル人)

ウ リ 科 *Cucumis sativus* LINN. cult.

キ ウ リ

嫩葉は生食又は蒸食

ウ リ 科 *Momordica Charantia* LINN. cult.

ナ ガ レ イ シ

嫩莖頂は果物の代用調味料 (ジャバ, 比島) 又花も然り; 備考, 葉は薬用

ウ リ 科 *M. cochinchinensis* SPRENG.

モ ク ベ ツ シ

極く嫩葉を食用 (バリ島, 比島); 備考, 種子は薬用

キ キ ヤ ウ 科 *Sphenoclea zeylanica* GAERTN.

ナ ガ ボ ノ ウ ル シ

幼苗全部, 生長後は頂端を米と共に食用 (ジャバ),

較苦し

キ ク 科 *Blumea lacera* DC.

ヤヘヤマカウゾリナ

幼苗全部, 特に嫩莖頂端を料理して食用 (ジャバ);

備考, 薬用

キ ク 科 *Chrysanthemum coronarium*
LINN. cult.

シ ユ ン ギ ク

註 嫩莖頂葉は野菜 (海南島, 各地)

キ ク 科 *Eclipta alba* HASSK.

タ カ サ プ ラ ウ

葉は料理して食用

キ ク 科 *Emilia sonchifolia* DC.

ウ ス ベ ニ ニ ガ ナ

花梗の出る前の莖葉はサラダに用ふ (佛印, マレイ)

キ ク 科 *Enhydra fluctuans* LUR.

莖葉はサラダに用ふ (マレイ其他)



挿圖 シュンギク (*Chrysanthemum coronarium* LINN. cult.)
(増訂草本圖説に據る)

註 本植物 (我國に於て春時その嫩苗を食するにより春菊の名あり) は繁殖力旺盛にして, 土着人間に多少用ひらるゝ程度なるも, 戦時食用植物として價值あるものと認むる故特に圖を挿入せり。(挿圖参照)

- キ ク 科 *Erechites valerianaefolia* DC.
 嫩莖葉は食用 (海南島), 柔かき花序は食用 (ジャバ)
- キ ク 科 *Erigeron sumatrensis* RETZ.
 葉は野菜 (各地); 備考, 葉を薬用
- キ ク 科 *Gynura procumbens* MERR.
 葉は調味料 (マレイ, 佛印); 備考, 植物は薬用と言はれる (各地)

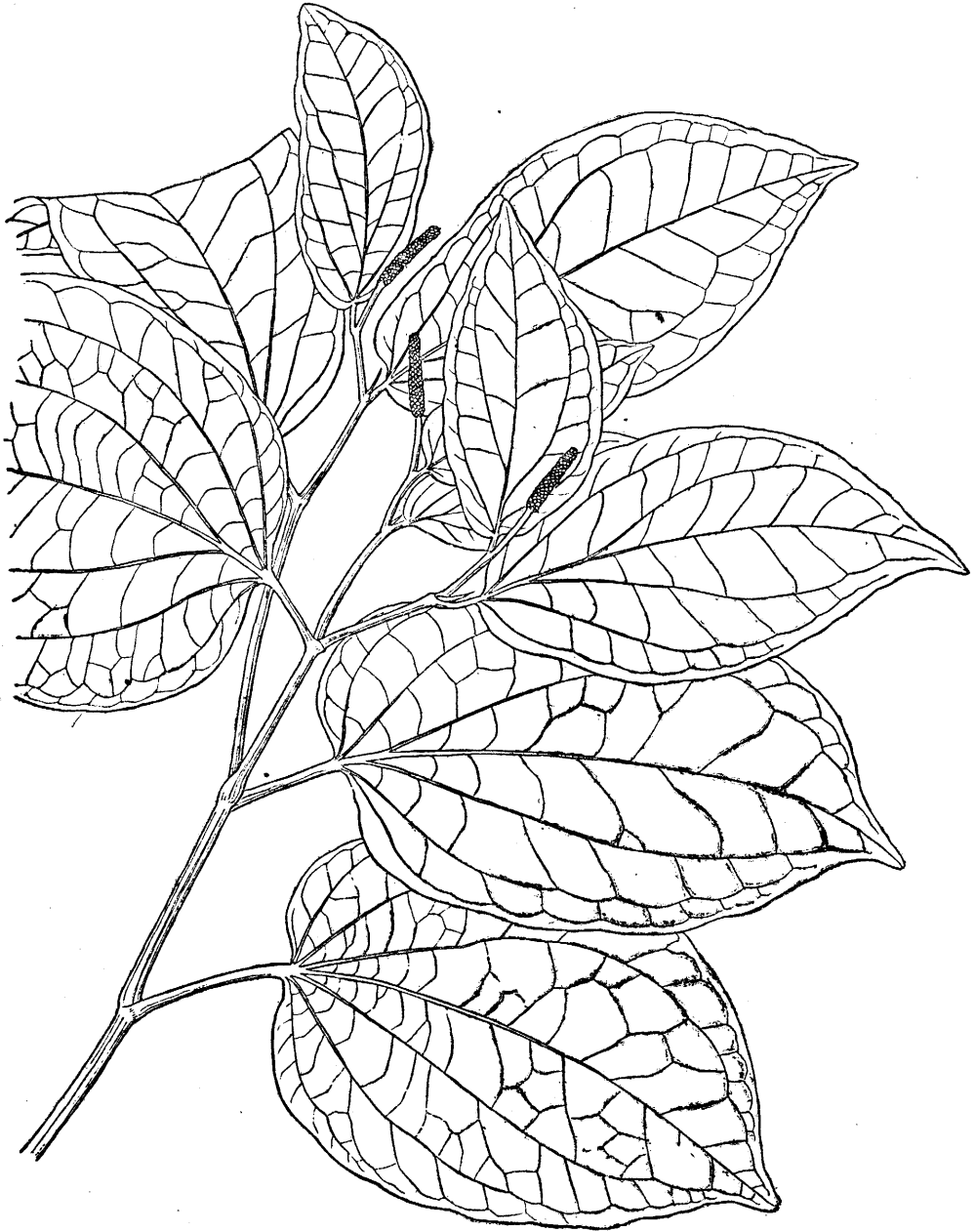
III, 單子葉植物

- カ ホ ン 科 *Bambusa spinosa* ROXB.
 筍は食用 (佛印其他)
- カ ホ ン 科 *Zizania latifolia* TURCZ. cult. マ コ モ
 莖基部食用 (各地)
- ヤ シ 科 *Areca Catechu* LINN. ビ ン ラ ウ ジ
 嫩莖頂は苦味を有するもサラグに用ふ (各地)
- ヤ シ 科 *Arenga pinnata* MERR. サ タ ウ ヤ シ
 嫩莖頂は食用 (東印度)
- テンナンシャウ科 *Lasia spinosa* THW.
 嫩葉, 皮を剥ぎたる葉柄は食用 (セイロン), 又米と共に食す (ジャバ); 備考, 葉は薬用
- テンナンシャウ科 *Pistia Stratiotes* LINN. ボ タ ン ウ キ ク サ
 嫩葉は料理して食す (印度在住支那人), 曾て飢饉の際印度にて用ひらる; 備考, 薬用
- ミヅアフヒ科 *Monochoria hastata* SOLMS.
 葉は野菜として多量に用ひらる (マレイ等), 又花序も香りあるが食用となる; 備考,
 地下莖薬用
- ミヅアフヒ科 M. vaginalis PRESL. コ ナ ギ
 葉は蒸食又は煮野菜 (マレイ等) 強い香りを有する; 備考, 薬用
- ユ リ 科 *Asparagus cochinchinensis* MERR. ク サ ス ギ カ ヅ ラ
 地下莖は食用 (佛印其他)
- ヤマノイモ科 *Dioscorea Batatas* DECNE cult. ナ ガ イ モ
 塊莖は食用 (各地)
- ヤマノイモ科 D. bulbifera LINN. ニ ガ ガ シ ユ ウ
 同 上

- ヤマノイモ科 D. pentaphylla LINN.
同 上
- ヤマノイモ科 D. persimilis PRAIN et BURK. ラシヤイモ
同 上
- メウガ科 Curcuma longa LINN. ウコン
葉は調味料, 地下莖は料理して食用 (マレイ其他); 備考, 地下莖は薬用
- メウガ科 C. zedoaria ROSCOE ガジュツ
地下莖は料理して食用 (マレイ); 備考, 地下莖は薬用
- メウガ科 Kaempferia Galanga LINN. バンウコン
地下莖は米の香味料 (マレイ); 備考, 地下莖は薬用
- メウガ科 Languas speciosa MERR. ゲツタウ
莖基部の柔かい髓芯は食用 (マレイ等)

参 考 文 献

- I. H. Burkill: A Dictionary of the Economic Products of the Malay Peninsula (1935)
- K. Heyne: De Nuttige Planten van Nederlandsch Indie, 1-3(1927)
- 田中長三郎: 蘭領印度の蔬菜, 熱帯園藝, 4 號, 9, 353-388 (昭和 15 年); 比律賓の蔬菜, 南支南洋, 185 號, 136-169 (昭和 15 年); 佛領印度支那の蔬菜, 南支南洋, 190 號, 1-22 (昭和 16 年)
- Tanaka and Odashima: Vegetable Resources of South China, Appendix to 10, Jour. Soc. Trop. Agr. 61-121 (1938)
- Tanaka and Odashima: A Census of Hainan Plants, Horticult. Inst., Taihoku I. U. 24 (1938)
- G. Watt: The Commercial Products of India (1908)



第1圖版 *Piper sarmentosum* Roxb. (キンマの1種)



第2圖版 *Amaranthus viridis* LINN. (アヲビユの1種)